



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. Zephyr 1992, 5

ISSUE DATE:

1992-03-21

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/87521>

RIGHT:

Zephyr

5

マンスフィールドパークの守護者としての牧師

稲垣真利子 (1)

求心と下降 —— 『オリバー・ツイスト』における動き

畑田美緒 (21)

「真夜中の色をした」肉体 —— “Pantaloone in Black” 試論 ——

金澤 哲 (39)

1992年3月

京都大学大学院英文学研究会

会則

1. 本会は京都大学大学院英文学研究会と称する。
2. 本会は会員相互の学問的向上をはかることを目的とし、随時会合を持つ。
3. 本会は年一回、機関誌『Zephyr』を発行する。会員はそれに投稿する資格を有し、その頒布を受ける。
4. 本会は、京都大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻在籍者有志、同出身者有志、同聴講生有志により構成される。
5. 4で定めるところの出身者有志は、特別会員になることもできる。
6. 会員及び特別会員は会費として年一定額を納める。その金額は会員間の話し合いにより決定する。
7. 責任者、会計係各一名、及び編集者若干名は会務を分担する。その任期は一年とし、選出は会員の互選による。

投稿規定

1. 投稿は英語学英米文学に関する未発表論文に限る。
2. 投稿申込締切は毎年3月10日とする。
3. 原稿締切は7月31日とする。
4. 投稿は原則として和文とする(引用は原文でも可)。分量は、本文と註を合わせ、400字詰原稿用紙40枚以内とする。

後記

『Zephyr』第5号をお届けいたします。今回も発行が予定より遅れてしまったことを先ずお詫び申し上げます。西風の神は、花の女神の恋人、草木が芽を出し花を開く春こそ『Zephyr』の発行にふさわしい、などと嘯いてみたところで、これは空しいレトリック。言い訳にもなりますまい。まだまだ安定した軌道にのっていない我等の研究会、機関誌の発行をあまり遅らせないということも当面の目標でしょう。風当たりがあまり厳しくならないうちになんとかしたいと考えております。諸先輩方には今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、我々を支え、度重なる遅れに毎回辛抱強く付き合ってくださいている堀井印刷の皆様に、この場を借りてお礼を申し上げます。

(M.A.)

Zephyr

第 5 号

1992年 3 月21日 発行

発行人 京都大学大学院英文学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部英米文学研究室内

印刷所 京都市左京区田中門前町89
堀井印刷